(二十五日夕刊)

休刊大祭　第一・第三日曜
定價　一部二錢郵税一ケ月六十錢十五錢
廣告料　壹行六十錢指定廿錢增
発行兼編輯兼印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

炭礦から溢れ出る失業者の洪水

政府黨が選擧に勝つて役人教員大恐慌

石城郡地方は昨年末來の不況の景氣が益々祟り炭礦方面より溢り出された失業者の洪水を見てゐるが昨年暮の本縣通常縣會に於て審議可中されたる昭和五年度豫算は屢報の如く緊縮豫算となるが殊に人件費・削減を加へ多結果昨月の第年度・共に縣廳殺・官廳費並・男女兩師範學校を始め等學校教員、小使ひ等約七十名整理となす。緊縮政策となり減俸なども七十名の人々は一れも失業の境に陷る譯目下失業製造案件は各課長の許で選考中で三月末日に發表される筈、總選擧の結果は與黨たる民政黨勝利し　回の事整理に際しては民政黨支部強・小使知事に要求し官吏政黨色を除の政友派は公的好意る者をそ組のせず肚でゐるらし　兎に角今回減俸は比較的級の者をする針であること一層重大な結果を生むこ　なるは必然で役人教員連　戰々恟々

電氣で重傷

全身に大火傷

石城郡小名濱町二本松電氣小名濱出張所電工齋藤六郎(三〇)は去る二十日午前十時ごろ同郡玉川村字住吉地内において電柱に上り變壓器の取替中過て高壓線に觸れ重傷を負ふた

洋服一賃値下

平町洋業組合

平町洋服業組合員江島・目黒・高橋・高野・金子・中島・丸山・泉屋・小松

選擧に邪魔された平町水道起債

町民の連判狀を取つて近く再び猛運動

平町・上水道起債認可促進委員連は三萬町民の連判狀を携へ豫算町會後いよ〳〵上京することになつた

平町長並・助役・伏見

小名濱で鰯の豐漁

一萬五千貫

小名濱大敷網では最近打續くネ漁でほと〳〵困り拔ひて居たが昨二十三日は不漁風もすつかり凪ぎ一萬五千貫の鰯漁獲したがこれは本年最初の大豐漁であると

兒童性能機

小名濱校で設備

石城郡小名濱町小學校では卒業兒童就職ため性能機を購入し求職兒童便宜を計つてゐる本年求職兒童は五十名以上に達しと

佐川、ヒッジ屋、鈴木の各店では金解禁の影響として一割方羅紗相場が下落したので更に丁賃も一割値下げする事に決した

現代婦人の服裝

永山香雪

現代に於ける服裝は、男子の踵の娘などは大腿部迄も勿論女子に於ても洋裝するものが段々多く、特に若い婦人・益々此の傾向がある。女學校・生徒達も大抵洋裝　樣だ、これ程迄時代・趨勢とでも云ふよかろう。

婦人の洋裝もいゝが、見て愛嬌ふことは裾が短くするのだろうか。

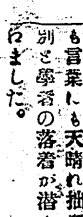
傳統的・不便な日本服を除り級に於ても膝隠れ程度着し幅の廣い長い日本帶を であり、女學校の生徒達は丸で膝頭が出て居り一寸化けの樣にも見へる。せんにも裾・短くするだ

現し居ると、事だが、裾短されは短ほど文化的美と云ふのを損せぬ程度縮らすのは愚の至りである、洋裝の裾を長くしたい と云ふのもこの醜い下腿部を掩ひ隠す爲めに必要である、丁度日本婦人が廣帶をお太鼓に結んでその大きなお臀をかくすが如く

兎に角日本婦人の洋裝は過度期である。其体格と習慣とをよく考へて似合ふ日本流の洋裝を作りたい。

婦人の姿勢にしてそうだ、日本婦人は上半身發育はいゝが脚部に甚だわるい、若い婦人などは其の下腿部即ち「ふくらはぎ」が馬鹿に太くて誠に醜いのである、洋裝の裾を長くしたい と云ふのもこの醜い下腿部を掩ひ隠す爲めに必要である、丁度日本婦人が廣帶をお太鼓に結んでその大きなお臀をかくすが如く

兎に角日本婦人の洋裝は過度期である。其体格と習慣とをよく考へて似合ふ日本流の洋裝を作りたい。



日本婦人の頭髪は西洋婦人と先天的に違ふのだ。西洋婦人の頭髪は縮れて居るのが流行とも云ふのであるが、既に然る以上日本婦人が髪に鏝をあてゝ　ザ・ウ　ザ・ウ　縮らすのは愚の至りである、洋裝をするのは日本婦人に ふさはしい洋裝であらねばならぬ。こゝに或婦人が頭髪を縮らす裾の長いのを着けて西洋人帶をお太鼓に結んでその大きなお臀をかくすが如く

笑はれても、これが日本流なのだと誇りたい。

天賦の直つすぐな髪に鏝あてゝ縮らす位ひなら寧ろお河童にした方がよいと思ふ。房々した黒髪はこのた河童が可成りよく似合ふだと思ふ。

いと思ふ。婦人洋裝も千九百年代・趨勢とでも云ふのであるが、既に然る以上日本婦人が髪に鏝をあてゝ　ザ・ウ　ザ・ウ　縮らすのは愚の至りである、洋裝をするのは日本婦人に ふさはしい洋裝であらねばならぬ。こゝに或婦人が頭髪を縮らす裾の長いのを着けて西洋人帶をお太鼓に結んでその大きなお臀をかくすが如く

笑はれても、これが日本流なのだと誇りたい。

天賦の直つすぐな髪に鏝あてゝ縮らす位ひなら寧ろお河童にした方がよいと思ふ。房々した黒髪はこのた河童が可成りよく似合ふだと思ふ。

日本婦人の頭髪は西洋婦人と先天的に違ふのだ。西洋婦人の頭髪は縮れて居るのが流行とも云ふのであるが、既に然る以上日本婦人が髪に鏝をあてゝ　ザ・ウ　ザ・ウ　縮らすのは愚の至りである、洋裝をするのは日本婦人に ふさはしい洋裝であらねばならぬ。こゝに或婦人が頭髪を縮らす裾の長いのを着けて西洋人帶をお太鼓に結んでその大きなお臀をかくすが如く

笑はれても、これが日本流なのだと誇りたい。

天賦の直つすぐな髪に鏝あてゝ縮らす位ひなら寧ろお河童にした方がよいと思ふ。房々した黒髪はこのた河童が可成りよく似合ふだと思ふ。

幕末奇傑高山彦九郎

中西洋々作
布施長春畫

(75)　降魔の里　(十)

「とつさん。お前は生きてゐたのか」

感激の淵に溺れ乍ら、太吉は云ひました。

「うむ、旦那さまのお蔭で危いところを救つて頂いた」

「姉者が待つて居られようつて參りました」

「そう家へ歸ることに致さう」

「はい」

市之丞は、素直に頷きまつて歡をつくしました

「爺や。それでは、今宵は そなたの改心した子供のお祝ひともかねて、皆で酒汲み交はすことに致さう、そなた濟まぬが酒買うて來てはくれぬか」

「はい〳〵承知いたしました」

その時、太吉は口を挿みました

「その御用なら、私に仰しやりつけて下さいませ、初めから何だかた客さまでは御遠慮なく御出で下さい

「では、市之丞殿」

彦九郎はそれ迄默つて彼の側に立つてゐた之丞

「ムります」

「では、市之丞殿」

彦九郎は太吉の本心をはつきりと感じ乍ら言ひました

「その心を忘れずに、正しい道を歩んで行きなさいませ」

「はい……面白いこと申す。よし〳〵ではそなたに頼むと致さう」

太吉は、一旦、皆と市之丞民助主家の住む家に引返し、德利をとるとそのまま使ひに出て行きました

「はい、よう〳〵分りました」

日那さま、今日はいろ〳〵とどうも有難うムりました。民助、この御恩は一生忘れは致しませぬ」

座について から改めて民助からから禮を致しました

「いや〳〵、その樣に、改まつて頂いては困る、だ、それがと如きものの言葉もよく聞き分けて、心をへべ替へしくれ、がと思ふと拙者も人事ならず嬉しいのぢや」

當時か草深い田舍から出た身には自然の感德が彌はつて如何に爭はれぬ血筋とは云へ彦九郎のその態度にも言葉にも天晴れ拙者の分別と學者の落着が潜んで見ました。

そこは間もなく太吉が歸つて參りました

山家なれば何といつてはありませんが一同は舌鼓打ちました

「では誰と言ふより身共が剃髪にして進んせよう」

彦九郎は宴果て後かういつて太吉の頭髪に剃刀をあてました

「それでは、た歸りの節はまたどうぞお立寄り下さいませ」

その翌日かういつて別れを惜しむ松村家の人達——

盲目の美女眞弓・年少市之丞と老僕民助と今日京に上つて何處から寺防から僧名をもらつて諸國行脚の旅に上らうといふ僧姿の太吉など分つて、西へ大阪への道を辿りました

セイコー時計の値下斷行

景品は特賣

金解禁と…國産品の愛用…

景品總額金拾貳萬圓

景品内譯

一等　蓄音器壹台
二等　置時計壹ケ　五百本
三等　置時計壹ケ　一千本
四等　目覺時計壹ケ　五千本
五等　特製ナイフ　全部へ

時計は信用ある精工舍製品を

特約店　平　三谷時計病院　電話十九番

下町　紺屋町　吉田眼科醫院

毛糸編物講習

生活改善は衣服から
消費節約も衣服から
發育盛りの小供には
毛糸編物が第一
夜間簡便文化器の
編物を無料講習致して
居ます、どうぞ
御遠慮なく御出で下さい

平町田町　藤田女學校隣
ハシモトヤ糸店

内科　外科　花柳病科　藏一般科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

内科診療
消化器病科　呼吸器病科
小兒内科　一般内科
入院應需(自炊ノ便アリ)
平町鼠坂
渡邊内科醫院
電話一六一番

共濟病院　各科專門
耳鼻咽喉科　醫學士　井上俊次郎
醫學博士　渡部貞助
産婦人科　醫學博士　松枝茂
外科　醫學士　氏家憲介
醫學博士　桂重次
内科　醫學博士　難波睦
醫學博士　中西林藏
光線　醫學博士　難波睦
技師　工藤慶造
衛生試驗所　醫學博士　中西林藏
技師　小熊英夫
藥局　藥劑師　吉本孝
本院醫事法學士　岡田
法制顧問　賀澤忠治

衛生試驗所
病氣相談所
救療所　(共濟病院内)
共濟病院は皆さんの病院であります
御藥付のことは御注意を願へます

磐城共濟會
看護婦見習募集　平町電話六四一番

動力使用
最新獨逸式製材機取付
製板製材並びに諸建築用材一式請負
増尾木工場
迅速—叮寧—安價
平町伸町　増尾甚市郎
電話四六九番

入院隨意(自炊の便あり)
X光線科
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

營業種目
内地材　材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達請負其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番

木シン胃腸藥
健康第一
健康は胃腸から

平町の昭和五年度豫算
前年より十八萬余圓の減
一戸平均二圓宛の負擔輕減
總額卅二萬二千圓

平町に於ける昭和五年度の豫算は一般會計歳入出豫算三十二萬一千九百三十九圓にして前年度に比し十八萬一千二百二十四圓の減額となつた、而して減額をなし得た所以は前年五萬一千六百圓の町債を本年は全部廢し第三小學校が出來ても從來六十六學級なりしを六十學級に整理し歩出の減額を計る一方歳入に於て増額したものは水道使用料手數料二千二百二十一圓にして之れ等緊縮の結果前年度戸數割一戸平均二十圓五十錢なりしを本年は十八圓五十錢に輕減されたので之れだけ町民の負擔が輕くなつた譯けで歳入出豫算款項目左の如し

△歳入の部(圓單位)

財産より生ずる收入	三、七七一、一四
使用料及手數料	一九、一九四
國庫下渡金	二三、六一七
縣補助金	二、六〇二
就學奬勵金	四〇
寄附金	六、四二一
財産賣拂金	七〇、〇〇一
繰越金	二五、〇〇〇
雜收入	二、五三三
町税	一六二、四八四
地租附加税	四、六六四
特別地租附加税	三九
營業收益税附加税	一二、七六八
鑛業税附加税	一
縣税家屋税	一四、八四六
縣税雜種税附加税	二七、一〇五
特別税戸數割	八六、七六五
町債	ナシ
歳入合計	三二一、九三九

△歳出經常部

神社費	三〇
會議費	一、四九〇
役場費	三六、六四一
土木費	三、六二〇
小學校費	七〇、六一二
商業學校費	二一、六五四
商業補習學校費	五〇三
青年訓練所費	一、〇一八
トラホーム豫防費	五四六
街路撒水費	三、七〇〇
傳染病豫防費	六九七
傳染病院費	七、一一八
汚物掃除費	七、一一八
公園費	一、一三九
火葬場費	八六七
勸業費	九〇
統計費	三九〇
職業紹介所費	二、七一九
救助費	一五〇
警備費	五、三四五
徴發費	一
基本財産造成費	一、一〇七
財産費	一、四一二
諸税及負擔	一一〇
交付金	三二〇
雜支出	一五
戻入金	四、一一八
地方改良費	一、二七〇
豫備費	三、〇〇〇
公債費	三九、五八六
合計	二一一、八一六

△歳出臨時部

土木費	八、〇八八
小學校費	六、〇一五
商業學校費	一、一一九
公園費	四六〇
警備費	二、二五〇
役場建築費	七五、〇〇〇
寄付金	一五〇
補助金	二、六七〇
雜支出	八、八四一
町是調査費	二、五〇〇
土木費繰續費本年度支出額	六、〇〇〇
土地買上費本年度支出額	六、〇〇〇
小學校建築繰續費本年度支出額	二〇二
火葬場費	五
訴訟費	七三
國勢調査費	
農業調査費	
臨時部合計	一一〇、一二三
總計	三二一、九三九

平町の特別會計
水道の豫算内容
事業は全く縮少

平町特別會計水道部の五年ならず或は幾分の増額を見るかも知れない、かゝる事情にあるので毎年定例的に約一萬圓位の増額を見るかも知れないかゝる事情にあるので毎年定例的に約一萬圓位の工費を投じて行つて居た配水區域擴張工事(毎年二百間以上)は殆ど行はぬ程に縮少することになつた豫算は目標である前年より一割緊縮が不可能であるのみ

感電即死

長倉炭礦の坑夫

茨城縣久慈郡染和田村中染の當時磐崎村上湯長屋長倉炭礦機械見習工高順茂(一九)は去る廿二日午後四時同坑下層南第一斜坑で機械作業中電球を取り換へんとして二百ボルトの直流電氣に觸れ感電即死したと

昨夕刻
火事騒ぎ

昨夜二十四日午後七時半頃平町研町西洋洗濯業大山房義方の石油コンロ爆發しあはや火の海となる處附近の人々かけ込み防火に努めた爲め大事に至らず消止めた

平地方また
寒くなる
二三日は此分

平町地方は數日來非常に氣温高く二十四日は例年より十二度以上の高さを示し梅の見頃といふ今日此頃は丁度櫻のほころぶ四月頃の暖かさでメッキリ春らしくなつて來たがまだ此二三日はこんな調子の天氣が續くさうである小名濱測候所では二三日はこんな天氣であまりくことでせう、何れ今年の天候(昨年冬頃から)は變態的で初冬の頃に陽春五、六月頃の天氣になつたり冬の終りに四五月頃の天氣になつたりポツリ〳〵こんな天氣であまりにも變態さを示してゐます、併し此二三日經つたらまた少しは寒くなります

試驗前の生徒へ
曾我平第一校長談

入學試驗や學年試驗もいよ〳〵近づいてきて甚だ有難くない試驗季節に入つて來ましたが、試驗勉强をするにも衛生上のこゝで充分考慮に入れて勉强の能率をあげ、かつ健康を害さぬやうにしなければなりません第一に毎日の食事は消化しやすく、かつ相當榮養化のあるものを平常よりはいくらか少量づゝをとるやうにします、なぜかといふと胃腸に長く停滯する不消化物を食したり餘りに飽食すると血行が關係で頭腦の働きが鈍くなり、勢ひ勉强中は運動不足になりがちで胃腸をそこねることがあります、又睡眠は充分とること殊に熟睡をしなければなりませんよく勉强中には不眠症を起すがそんな時には寝る前に閉めるものを平常よりはいくきつた部屋の中で裸になつて乾いたタオルで身體を摩擦するか、冷水の中に足を三十分位浸すかにすれば寝つきが非常によくなります

これでも眠れぬ場合には催眠劑が用ひてよろしい、室内の温度と頭腦の働きとは非常に關係があります暖かくとき勉强の能率が低下します、てはどの位の温度が適當かといふと六十度乃至六十二三度がいゝといはれて居ります、又換氣のことも充分に考へて時々窓を開けて新鮮な空氣を室内へ送りこむ必要があります、長く持續して勉强する場合には近親亂祝し豫防をしなければなりません、それには直射日光の下でする事が餘りに光線不充分な場所あまりに强い光線の下で書物を讀むことは、ありません、書物と目との距離もあまり近づけず適當に離しておく必要があります長時間に亘つて讀書する場合には時々視野を遠方に送つて目の調節を整へる事殊に書物を讀まぬといふことを注意すべきです、よく勉强中神經衰弱にかゝつて勉强の能率をそがれることがありますがこれは

勉强の方法が惡いからです、つまり豫め時間表を作つてそれも無理な時間表は決して作らず規則的な輕症のものはほつてしまへばよいのです、規則的な勉强は頭腦を訓練して益々明晰にこそすれ決して神經衰弱の原因とはなりません

くだらぬ取越苦勞や不規則な生活、睡眠不足等が神經衰弱を起す原因となります、不幸にして神經衰弱に罹つた時には規則的な生活をなす、充分な睡眠をとるやうにします、そして餘り多食せぬ位

日光

の下でする事は直射

健氣な志

私は職を與へよ
織田文治生投

人は生活して行くには一定の職業が必要である、一定の家業といふものが無ければならない。然るに世の中が進渉發展するに隨つて從來成し來つた職業或は家業が世の中に遠ざかつて生活に困難を來す、失業者なる者の中には能度之れ等の者が多い。

◇

一、自轉車自動車の出現によつて人力車は不用物となる

二、貨物自動車が出來て荷馬車屋と車力人夫が失業する

三、製板所が出來て木挽職が失職する

四、バケツや金ヒシャクが流行して曲物類の手桶杓子が不用になる

五、ゴム靴が出來て下駄類が下落する

六、硬筆が流行して毛筆が減る

從つて製造人の失業が殖える即ち自然の趨勢に從ふことが出來ない、それをどこまでもその業にかぢり付いてると遂には行き詰つて仕居舞ふのである、早く見切りをつけて他の有利なる職業即ち前途見込みのある事業を選んだ轉業すべきだ

◇

そこへ行くと農家は世襲的に先づ職業の安定を得ねる骨折の職業ではあるが商人のやうに客の來るのを待つ必要も無い、自分の畑を自ら耕して食物を得自分の山から薪炭を採り入れる商店などが續々閉店する水道を引くの必要なく自由に汲まれた環境に安息してゐられる。

◇

今は智識階級の不生産者が多い、機械や器具類を製作する職工も多い、又その製品を商ふ所の商人も多過ぎる、即經濟學原理の需用數より供給數が非常に多い、そして特許品とか意匠新案であるとか廣告して後から〳〵と斬新なる品物を製作されるとこの購買力がそれに伴はぬ結果工業界も稍ひまになるのは當然である商店などが續々閉店するも敢てあやしむに足らない、骨も折らず店に居て甘く渡世が出來るならばこれより善い職業が無い、それで我も〳〵と商業をなす人が多いから從つて失敗して止める人も多い。

◇

政府が中小商に資本を金融するのは未墾の地を開拓するために金融する資本より遙に不利である都會は勿論何れの村落にも店がある言はば店が多過ぎる何うか生産業者となつて欲しい何卒轉業に付いては能く注意して失業者の仲間入りをせぬ樣希望する

選擧川柳

◆總評

ライオンに野犬(犬養政友總裁)ほえつく空景氣

◆東京府一區

そら民政イの一番に勝太郎

活き死の堺に立つた利彦さん

◆第二區

歌舞伎ぢや左團次、民政ぢや

彈圓次共に千兩役者なり

當選が宝部こべなりとは磯雄外

鳩の豆犬健と共に味を占め

痴遊老たゝき扇の骨が折れ

◆同四區

幸運は儀士に眞鍋と

意氣を揚げ

龍介も雲を起さず白蓮の池に潜みしうたてさよ

仰げば高木富士の斯波山

誰も加藤と思ふと居なが勘士逆ひで亦も次點で

兒童の頭からさい
望大な「夢」去る
實社會へ飛び出したい
平校卒業生志望

今年度卒業兒童について學校當局が調査した統計は兒童の志望に對する最近の傾向を知るべく敎育者及び父兄を充分考へさせるものがある即ち上級學校を志望するものは比較的少數で父兄の眼を敎育者の立場に向けしめ、上級の學校を望まず學校を卒業したら直に社會に出て働かうといふ考へを持つてゐる者が多く、夢は子供の頭からさへ去つてゐる。平町第一小學校の從來子供の希望と言へば僕は大將になる大臣になるといふのが普通であるが、近頃の兒童は必ずしもさうではない、兒童の過半數は能くべき手近な所に志望を定

社塙告操

右之者本社と無關係に付き此之段社告仕候也

二月廿四日

磐城新聞社

淺野氏入院

東京朝日新聞平通信部主任淺野愚四郎氏は骨膜を病み平町新川町木村病院に入院二十四日藤本博士の手術を受けられた

人絹の反物を賣る
詐欺の行商團
全國各地で一萬圓を
平署に捕はる

山梨縣巨摩郡落合村大字石落呉服行商深澤竹次郎(三二)同妻一(三一)同武夫(三三)の四名は本月廿四日より平町字田町福田旅館に逗留し一反せいぜい五圓の人絹反物を平町中心に附近各地に持廻り自分等は平二丁目伊關呉服店の主人筋に當る東京の某呉服店のものであるか打續き不況に進り切れや負債整理のため安賣行商をする譯で掛け賣なら廿、五六圓の品を現金なら十五圓に賣ると地方人を欺むき既に平地方だけで三千圓から賣つてゐるを平署で探知一同を引致嚴重取調べてゐるが同人等は千葉、茨城、埼玉その他關東各地を同樣手段で詐欺して廻り總額一萬數千圓を騙取してをるらしく各地に犯跡照會中である

當選御禮

今回衆議院議員選擧に際し各位の御熱誠なる御援助により當選の榮を得候段奉深謝候不取敢紙上を以て御禮申上候

二月二十四日

木村清治

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士 高久忠清
新潟醫學士 赤羽
藥劑士 佐竹
内科 小兒科
外科 柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

内臓外科
整形外科
醫學博士 藤本順
産婦人科 科 院長 木村寅次郎
平町新川町
電話一六四番
木村病院

清酒 造元 世界吉 清水屋
石城小名濱町
銘酒 各炭鑛御用達
小野晋平
電話六番

ヒゲタ醤油
會社
特用品
東京日本橋式會社

平町田町
特約店 廣瀬支店
電話五四番

時計 貴金屬 眼鏡類 商 蓄音器
平町五丁目
金光堂時計店
電話七三六
修理ハ早ク良ク仕リマス